



# 県民提案の受付状況

(平成29年度受理分)

総務部 県民広聴室



## 平成29年度 県民提案の受付状況について

(集計期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日)

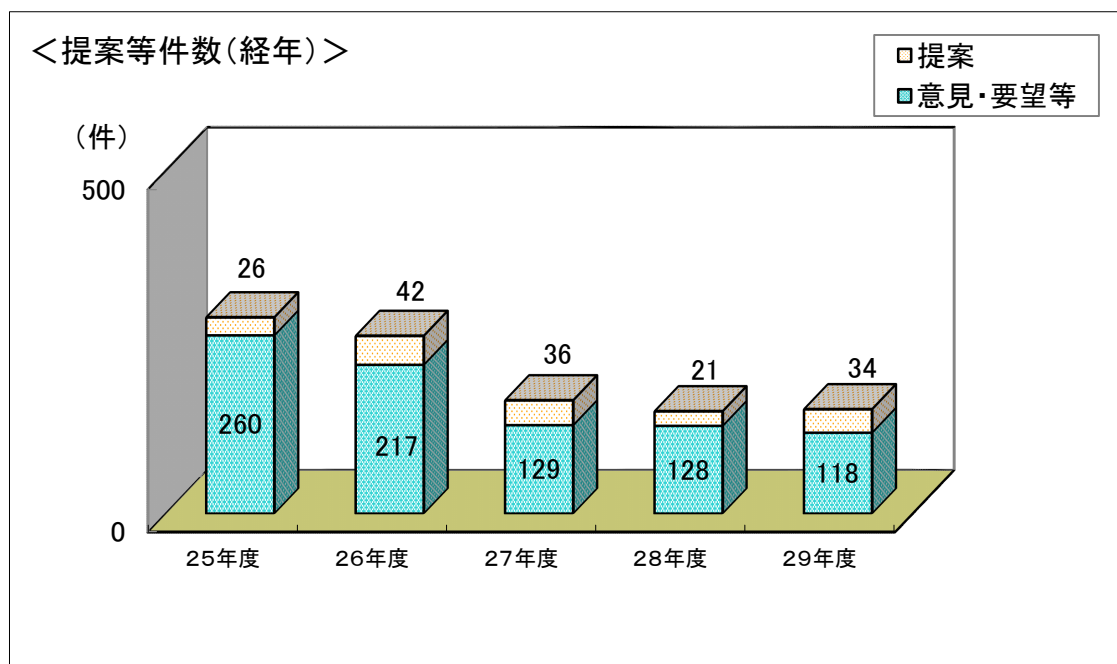
### 1 提案等件数

#### (1) 経年データ（平成25年度～平成29年度）

平成29年度の県民提案制度を活用した提案件数は34件で、前年度より13件増加した（前年比61.9%）。その他意見・要望等は118件寄せられた。

(単位：件)

区分	平成25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	前年比
提案	26	42	36	21	34	161.9%
意見・要望等	260	217	129	128	118	92.2%
合計	286	259	165	149	152	102.0%



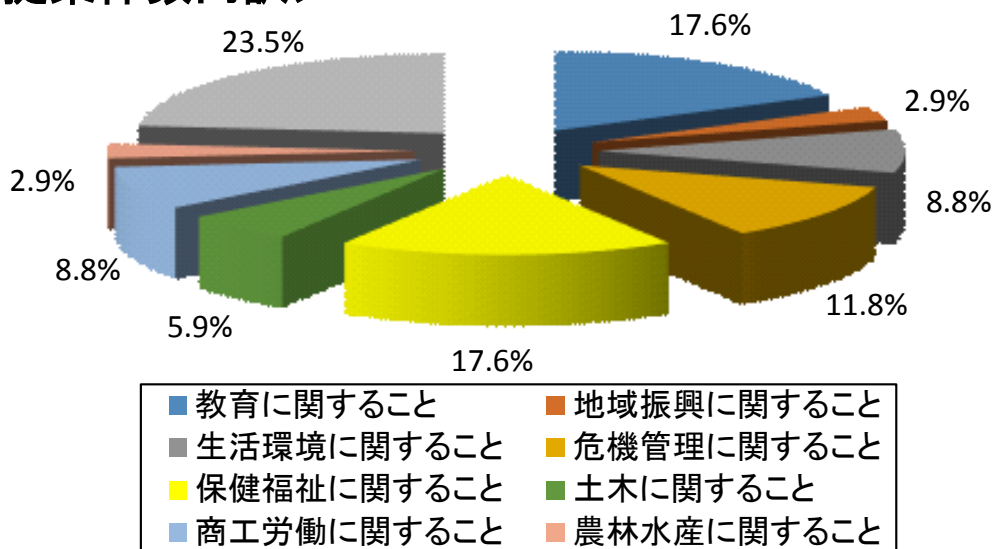
## (2) 分野別内訳

県民提案の分野別の内訳は下記のとおりである。

(単位:件)

提案等内容	件数	構成比
教育に関すること	6	17.6%
地域振興に関すること	1	2.9%
生活環境に関すること	3	8.8%
危機管理に関すること	4	11.8%
保健福祉に関すること	6	17.6%
土木に関すること	2	5.9%
商工労働に関すること	3	8.8%
農林水産に関すること	1	2.9%
上記以外	8	23.5%
合計	34	100.0%

### <提案件数内訳>



## 2 年代・性別

提案者を年代及び性別からみると、年代別では50代が20件で最も多くなっており、性別では男性が30件、女性3件、性別不明が1件であった。

(単位：件)

年代 性別	～19歳	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	不明	計	構成比
男性	0	0	3	6	19	0	1	1	30	88.2%
女性	0	2	0	0	1	0	0	0	3	8.8%
不明								1	1	2.9%
計	0	2	3	6	20	0	1	2	34	100.0%
構成比	0.0%	5.9%	8.8%	17.6%	58.8%	0.0%	2.9%	5.9%	100.0%	

## 3 地域別（各地方振興局管内等）

提案者を地域別にみると、県北地域が21件と最も多くなっており、次いでいわき地域が3件、県中地域及び会津地域が2件となっている。

(単位：件)

地域別	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	県外	不明	計
件数	21	2	1	2	0	1	3	0	4	34
構成比	61.8%	5.9%	2.9%	5.9%	0.0%	2.9%	8.8%	0.0%	11.8%	100.0%

## 4 提案方法

提案を提案方法別にみると、電子メールが19件と最も多く、2番目は県ホームページの県民提案フォームの14件であった。

(単位：件)

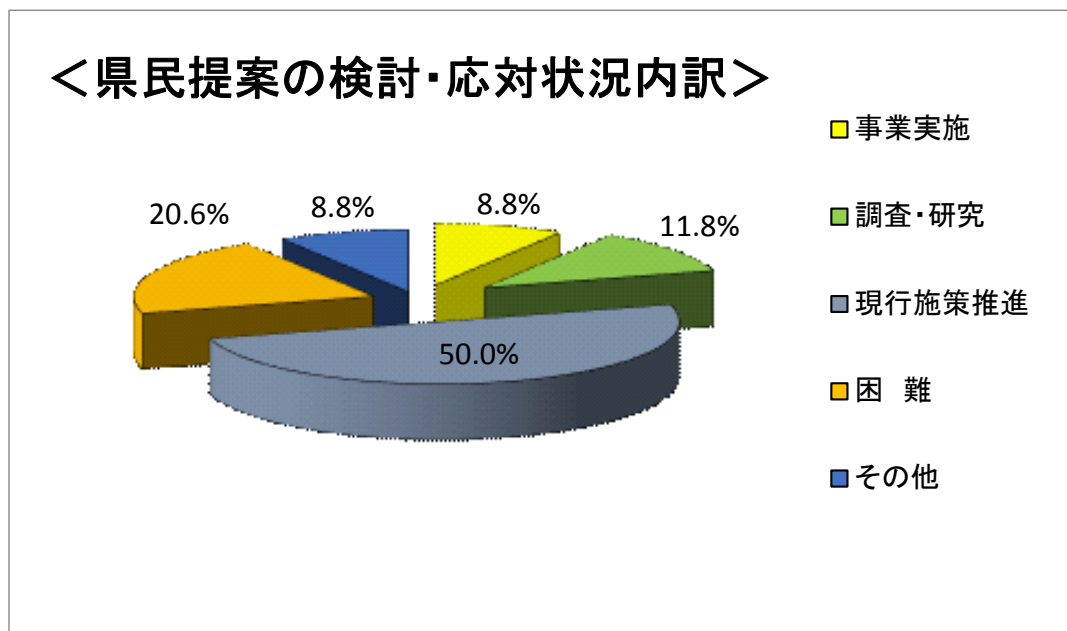
媒体別	県民提案 フォーム	電子メール	手紙・はがき	ファックス	その他	計
件数	14	19	1	0	0	34
構成比	41.2%	55.9%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%

## 5 県民提案の検討・対応状況〔総括表〕

寄せられた提案について担当部局で検討の結果、事業実施となったものが3件あった。

(単位:件)

処理区分	事業実施	調査・研究	現行施策推進	困 難	その他	計
件 数	3	4	17	7	3	34
構成比	8.8%	11.8%	50.0%	20.6%	8.8%	100.0%



## 6 県民提案 案件一覧

受付日	件 名	担当部局名
4/5	学校の津波対策について	危機管理部 教育庁
4/21	来年3月以降も地元に戻らない避難者の住所は避難先に変更すべき	総務部
5/9	福島イノベーション・コースト構想で、津波避難安全対策の観点から、企業等に救命艇の設置を進めるとともに、救命艇製造企業を誘致すべき	企画調整部 商工労働部
5/15	東京オリンピック開催会場あづま球場改修について	企画調整部 土木部
5/15	浜通りでの林野火災対策について	危機管理部
6/2	知事公館等における美術品の展示について	総務部 教育庁
6/12	危機管理部原子力関連部署の人材育成について	危機管理部
6/13	福島県上海事務所の情報発信について	商工労働部
6/14	漢方・生薬栽培について	保健福祉部 農林水産部
6/19	東京電力株主総会における議決権の行使について	総務部
6/20	磐梯山次期噴火発災への備えについて	危機管理部
7/24	県の公用車にカメラ付きドライブレコーダーを搭載してはどうか	総務部
7/25	県立こども病院の開設について	総務部 保健福祉部
7/26	文化・スポーツイベント情報の県ホームページへの掲載について	企画調整部
7/26	動物愛護施策の充実と「ふるさと納税」の使途事業について	総務部 保健福祉部
8/8	行政経営課における復興・再生に向けた行財政運営の推進への提案	総務部
8/15	狩猟税免除または大幅減税の提案	生活環境部
8/17	国際会議等の誘致による国際観光振興と市町村への支援について	商工労働部 生活環境部
8/21	道徳の授業に取り入れてほしい詩集について	教育庁
8/31	県立美術館による子ども美術会議の開催について	教育庁

受付日	件名	担当部局名
9/14	福島県獣医師職員の確保について	総務部
9/14	県立美術館を中心とした県内美術館めぐり企画について	教育庁
9/19	高齢者や障がい者等のゴミ出し困難世帯への支援について	生活環境部
9/25	無痛分娩について	総務部 保健福祉部
10/23	各種選挙の中間投票率をHPで公開すべき	選挙管理委員会 事務局
11/9	館長講座のラジオ配信及び学芸員による作品紹介について	教育庁
11/13	カップ酒で福島をPR	商工労働部
11/21	ビブリオバトルの美術館バージョンについて	教育庁
12/20	県庁庁舎名の改善について	総務部
1/11	広域避難場所である美術館、図書館などへの災害情報伝達等大型テレビモニターの整備について	教育庁
1/15	少子化対策について	保健福祉部
3/7	体を動かして健康寿命を延ばすこと(自転車専用レーン等の整備)について	保健福祉部 土木部
3/7	福祉職の賃金の上乗せの制度を制定すべき	保健福祉部
3/13	県民の健康等のため車利用の見直しが必要	生活環境部 保健福祉部



## 7 事業実施となった主な提案及び回答

### 漢方・生薬栽培について

#### (提案)

世界で10兆円以上もある漢方・生薬市場だが、国内では2000億円程度しかないと言われまだまだ伸びる市場だ。福島県は医療福祉機器製造販売においては国内でも上位であるが、漢方・生薬栽培においても国内上位を目指すべきだ。例えば、会津地方は薬用にとんじんの里で全国的に有名だ。会津医療センターへ薬用にとんじんを供給している。これから漢方・生薬栽培は福島県の重要な産業としてますます脚光を浴びてくると考える。そこで、会津地方を漢方・生薬栽培の「聖地」に位置付けブランド化して世界に向け販売しては如何だろう？勿論、新たな観光地として情報発信すれば観光客も増え一石二鳥であろう。いや来年には民泊も出来る様になるから空き家解消に繋がる可能性もあるから一石三鳥かな（笑）！以上

(平成29年6月14日 50代 男性)

#### (回答)

このたびは、漢方・生薬栽培について、ご提案いただきありがとうございます。

現在、国内の漢方製剤の生産金額については、平成22年から26年までに16%増加しており、その原料となる生薬の需要量については、ご提案いただいたとおり、今後も増加が見込まれるところです。

県内においては、会津地方で江戸時代から薬用人参の栽培が行われている他、新たに中通り等でも、各種薬用作物の生産に向けた動きが出てきております。

県ではこれらの動きに対し、平成28年度から「ふくしま「医食同源の郷」づくり事業」により支援を行っており、今年度は薬用人参の日覆け資材等の導入支援に加え、薬用人参を活用した観光ツアーや認知度向上のための消費者向け講習会の開催等を行う予定です。

今後とも、これらの取組により薬用作物の普及拡大と情報発信を進めて参りますので、ご支援賜りますようお願いいたします。

(平成29年6月26日 農林水産部 園芸課)

### 磐梯山時期噴火発災への備えについて

#### (提案)

磐梯山次期噴火発災への具体的な減災策として定期的に取りハーサルしていただきたい。

(平成29年6月20日 40代 男性)

**(回答)**

磐梯山の広域連携型避難訓練等の可及的速やかな実施について、ご提案ありがとうございます。

磐梯山は、全国の常時観測火山50山のうちの一つであり、気象庁が24時間体制で火山活動を監視、観測しております。

また、噴火警戒レベルの引き上げなど、磐梯山の火山活動に変化があった場合、その情報は直ちに県、市町村に伝達される体制ができており、噴火レベルに応じて速やかに火口周辺規制や入山規制を行い、登山者等の安全を確保することとしております。

磐梯山の防災対策につきましては、活動火山対策特別措置法に基づき、火山の専門家、市町村、气象台、自衛隊、警察、消防、観光協会など関係機関等を構成員とした磐梯山火山防災協議会を設置して検討しているところで、平成28年度はハザードマップの作成、平成29年度には火山防災マップを作成します。ご提案いただいた避難訓練につきましては、避難情報の伝達手段、避難場所、避難経路、避難手段などについて具体的に整理した避難計画を平成30年度中に策定し、実施する予定です。

(平成29年7月27日 危機管理部 災害対策課)

体を動かして健康寿命を延ばすこと（自転車専用レーン等の整備）について

**(提案)**

福島県民の交通手段はほとんどクルマだが、大阪から来た私にしたら、自転車で十分な距離でもクルマで移動する。だから太った人がとても多くて不健康である。小名浜のように景色がとても綺麗な環境があるのもったいない。サイクリングロード、道路整備を進め、いわき駅から小名浜まで自転車専用レーンを整備すべきだ。これは日本全国にPRすれば、日本全国の自転車愛好家も観光目的で来ることが見込める。2020年までに、福島県の観光PRは必須だ。それ以上に、福島県民が健康的なことも必要。太った人が多い街に誰が来たいと思うか。

(平成29年3月7日 20代 女性)

**(回答)**

健康寿命の延伸について、ご提案ありがとうございます。

県では、健康寿命の延伸を図るため、食、運動、社会参加の三本を柱として、食育の推進や減塩と野菜摂取を促すキャンペーン等の食生活改善に関する取組を行うとともに、運動をはじめとする健康づくりに取り組む県民の皆さまへポイントを付

与して、ポイントが基準に達成すると協力店で割引等の特典が得られる「ふくしま健民パスポート事業」を行っております。

また、運動の楽しさを体感できるイベントの開催や、歩きやすい靴や服装で通勤したり、仕事に従事したりする「ウォークビズ」の推奨なども行っております。

さらに、働き盛り世代は、働き方そのものが健康への影響を及ぼすと言われていたことから、企業や関係団体等と連携しながら、立ち会議や階段利用など、働きながら取り組める職場における健康づくり支援なども行っております。

引き続き、企業、団体、市町村等と連携し、県民の皆さまの健康の保持・増進が図られ、健康寿命を延ばすことができるよう取組を推進してまいります。

(2018年3月20日 保健福祉部 健康増進課)

いわき市内の自転車専用レーン等の整備について、ご提案ありがとうございます。

現在、いわき市では、健康増進や観光振興に寄与することを目的に、いわき市勿来町から久之浜町までの総延長約53kmにわたり、既存の道路などを活用したサイクリングルートを平成30年度から整備する予定となっており、県では市の取組を支援するため、役割分担のもと、ルートの一部となる県管理道路について、利用者の誘導や安全確保などの対策を行うこととしております。

今後とも、良好な自転車走行環境の整備に努めてまいります。

(2018年3月20日 土木部 道路整備課)